

会議も工夫次第で

活発な議論に

なりそうじゃないですか？

レコーディングについて

ワークショップによる話し合い・会議の手法を学ぶ

■ 名札づくり → 最後は出席簿になります!!

■ 話し合いの難しさ → ワークショップの役割

■ 今日の目的

・ 話す人きまってる・主旨がわからない・同じ話ぐるぐる

ボラステ → まちづくりやる??

聞いてもみんな意見をいわない

その前に話し合いの手段を学びましょう。

「5年ごのボラステってどうなってる?」

組織や地域で話し合ってきたか?

■ 旗あげアンケート

↓
本当に...?

- ・ みんな意見ちがう、立場も...
- ・ エイ人が決める?

① なくなっている → 3

② いまのまま続いている → 2

③ 人数増え続いている → 1

④ もうかっている → 0

⑤ その他 → 2

↓
みんな納得できてる?

※ 人数の少ない意見大切です

参加型の到来

「共感」「納得」のプロセスの大切さ
納得のプロセス

③ 人数すくなく仕事たいへん

② 1, 2年の運営とは考えていない
人生の最後の仕事、知識ではない
・ 続いてほしいけど、今のままでは縮少しそう

共感 > 納得 > 理解

意見のちがいを
おとめて納得する

⑤ 領域を変えながら存続すべき

・ ぶつこのステージによって役割かわる

① 危機感もって!!

■ 旗あげアンケートのよさ

- ・自分の意見に近いものを選ぶ
- ・ゲーム的
- ・誰かの意見に左右されない
- ・「その他」の選択肢をつくるの大切

■ WSとは?

- ・グループで
- ・参加型
- ・「場所である」こと
- ・「体や心をつかう」

→ 会議とは話し合いの「場」である
いろいろな種類のWSがある

楽しく話し合いをする為の手法

■ WSの歴史

- ・世田谷生まれ
- ・神戸の「上沢」で公園づくりWS
- ・まちづくり系WSは平成4年ごろ
- ・一般的なWSっていつごろはじまった?
「ちゃんと聞く」「ちゃんと話す」
「相互理解を心がめる」

■ ファシリテーターとは?

会議を円滑にする
進行役

■ レーディング (WSの手法) ← 模造紙に書く

- ・議論の経過がわかる
- ・4-5分でパチリでOK!!
- ・メモとらなくてもOK!
- ・会費に遅れてきた人もいままでの話し合いがわかる
- ・話が脱線しません ← なんか違う? て気づける
- ・会費のふり返りが簡単

■ 話し合いの手法 ← オススメ4つ

課題 (重要→重要でない
むづかしい→簡単)

- ・旗あげWS
- ・レーディング
- ・意見のゴールピング・マップ化

ポストイットに書く 7人か8つの意見 → 21もの意見!!

ちゃんと
寛げ

・ 課題解決シート

※ マイクロワークショップ: 話ごとぎちやめた……

3~5分、まわりの人と雑談 → 突破口になることあり

■ 「コミットメント」について

→ 自分の問題にすること ワガゴトだと考える

コミットする人を増やすことが大切

↓
どうやってコミットできる人を増やすか

これが大切!

これが「レコーディング」という
ワークショップの技法

普通の話合いに比べて この方法が有効な理由

- ① 議論の経過が、皆の前で**記録に残る**
→ その場で**議事録チェック**が可能
- ② ケータイで写真を取れば**メモがいらない**
→ 議論の間、集中して議論ができる
- ③ 参加していない人や、**遅刻した人も分かる**
→ 議事録を渡されても、なかなか読めないし
- ④ 目の前で**頭の整理ができる**
→ 議論の流れがよく分かるし、**脱線しない**
- ⑤ 話合いの**振り返りが簡単**
→ 最後に復習することで、**内容がより頭に残る**

マイクロワークシヨップ

議論の最中で、煮詰まった時

3人のグループを作って

5分だけ3人で話してもらおう

マイクロワークシヨップ

ら分たったら、何を話して
いたのか、全てのグループに
発表してもらおう

マイクロワークショップ

意外とこれがブレースルーを
生み出すことがあります

マイクロワークショップ
ちょっと面白いでしょ？